垂直入射吸音率測定システム

WinZacMTX

NIHON ONKYO ENGINEERING

吸遮音材料の音響特性を測定

WinZacMTX はハードウェアとソフトウェアからなる吸遮音特性測定システムです。
材料開発から、**シミュレーションのためのデータ取得**までサポートします。

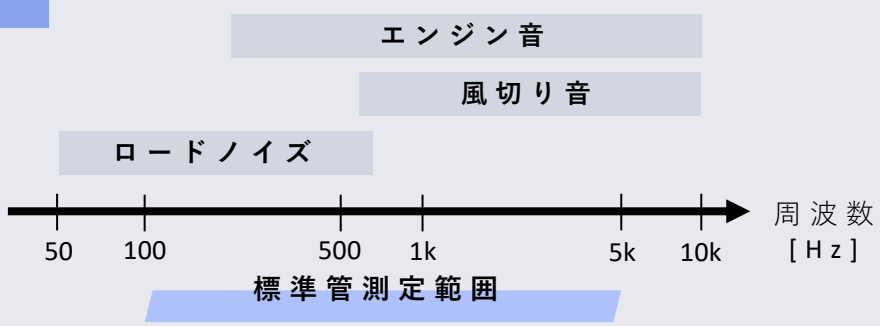
豊富な測定可能音響特性

取得できる特性と使用例

- **垂直入射吸音率**
  防音材の性能比較
- **比音響インピーダンス**
  空間音響シミュレーションの境界条件として

主要な周波数帯域を１本でカバー

吸遮音材で注目されることの多い帯域を１本で測定できるように設計してあります。異なるサイズの音響管とサンプルによる複数回の測定の必要がないため、データの不整合やサンプルの用意や測定にかかる工数も大幅に削減できます。



※ EV系ノイズ帯域等のより高周波領域の測定を行いたい場合はオプションの細径管をご用意しております。

意図せぬ板振動の影響を緩和する工夫

従来の音響管では、サンプルの弾性と支持境界によって生じる板振動が、吸音率測定結果に影響することが問題となっていました。

WinZacMTXでは、緩支持ホルダという独自開発の支持機構により、この影響を大幅に低減します。

サンプルを緩く保持しながら、
周囲の隙間を塞ぐ機構になっています。

柔軟なソフトウェア構成

WinZacMTXソフトウェアは、他社製音響管にも対応しております。可否につきましては、お気軽にお問合せください。

	標準管	低域対応管 （オプション）	中高域対応管 （オプション）	高域対応管 （オプション）
内径	直径 40 [mm]	直径 100 [mm]	直径 29 [mm]	直径 15 [mm]
測定可能周波数範囲 （参考値（20℃））	200～4,900 [Hz]	50～1,900 [Hz]	350～6,800Hz	500～10,000[Hz]
測定方法	伝達関数法(ISO 10534-2, ASTM E1050, JIS A 1405-2（吸音率）, ASTM E2611（透過損失）準拠)			
音響管	• 形状：円形 • 標準試料支持部(サンプルホルダ)材質：アクリル製(透明) • オプション品：垂直透過管、緩支持ホルダ ※ 音響管の縦置設置可能 ※ その他、カスタム仕様につきましてはご相談ください			
測定可能音響特性	• 垂直入射吸音率 • 音響透過損失 • 複素音圧反射率 • 比音響インピーダンス • 特性インピーダンス • 伝搬定数 • 実効密度 • 体積弾性率 • 伝達関数 • 伝達マトリクス • ランダム入射吸音率（推定値） • 音響透過損失（推定値）			

詳しいお問い合わせは下記まで

NIHON ONKYO ENGINEERING
日本音響エンジニアリング株式会社

HIBINO
hibino group
www.noe.co.jp

■ソリューション事業部
〒130-0021　東京都墨田区緑1-21-10　BR両国2ビル
TEL.03-3634-5300 FAX.03-3634-5350

●ホームページからのお問い合わせ
https://www.noe.co.jp/contact/

2025.05